

## 市長タウンミーティング概要（国分コミュニティセンター）

令和7年2月22日（土）10:00～11:10

### ○意見交換

#### 〔質問〕

（仮称）大谷・杉久保公園について、サービスエリアから外に出られるようなスマートインターチェンジ等を設置しないのか。また、利用客が多いとの話だが、公園に道の駅等を作らないのか。

海老名市役所の周りが開発されていくことで、田んぼが潰されてしまう。昔から秋になると海老名の田んぼの稲穂がさらさらする景色が大好きだが、それがなくなるのは寂しく感じる。海老名はもう農業には力を入れないのか。

#### 〔回答〕

スマートインターチェンジの設置には、接続する道路を市が整備する必要があるが、住宅も多く地域住民の反対もあり難しい。道の駅も作りたいと思っている。しかし、サービスエリアの中で販売を行うと手数料が25%掛かる。以前ネクスコ中日本に野菜の販売について打診したことがあるが、手数料のかからない直売所を作ることは難しいようだった。

田んぼが少なくなるのは現実。稲作収入だけで生活ができる農家は少なく、市の専業農家は100人を切っている。また田植え機、乾燥機、コンバインといった農業資機材が高い上に、1年に1回しか使わないものばかりである。そこで市で農業資機材を購入し、農家が利用できるようにしている。それ以外にも市は燃料費や資機材等の補助金を出しており、令和6年度では5000万円に到達している。このような取り組みによって農業を残していきたいと考えている。

#### 〔質問〕

並木橋交差点の工事が終わり、交通状況はかなり良くなったが、国分寺そばから並木橋に行き、ららぽーとの方に向かう際に右折レーンができたが、大きい車だとつまってしまう。線路側の歩道は利用者が少ないため、50センチから1メートルくらい拡幅できればスムーズになると思うので改良できないか。

#### 〔回答〕

私も通った際にも狭いと感じた。あと数メートルあれば右折レーンが作れるため、担当が研究している。工事が完了したばかりなので、少しお時間をいただきたい。

〔質問〕

相鉄線の海老名駅は2年後くらいに完成するという認識しており、他社線との相互運用で、運行本数が増えていると認識している。国分南と国分北の境の踏切が特に通勤時間帯で開かずの踏切になっている。線路についての改善があれば教えていただきたい。

〔回答〕

国分だけの問題ではなく、さがみ野についても同様の問題がある。相鉄線が都内に乗り入れたことによって、白金台や渋谷を出る電車に海老名行の表示があり、海老名に魅力を感じた都内の方が来ていただけるようになった。踏切の問題については、相鉄との協議の場を設けたい。

〔質問〕

市が主導となって行う開発に反対ではないが、海老名駅東口の渋滞もひどく、海老名市は、片側1車線の狭い道路も多いため、道路整備がどのように考えているか。

海老名市の北部地域の開発の話は分かったが、南部地域については農地の保全を含めて、市として南部の地域の方の住環境をどのように整備していくのか。

〔回答〕

道路整備の遅れは、指摘のとおりである。県は企業庁水道局付近の踏切を避けた高架の道路を整備しようとしている。市では図書館のすぐ西側に新しい道路を作った。海老名市は県道に囲まれており、市で整備できない道路があることが難点である。

〔質問〕

海老名駅前の喫煙所のことをお願いしたい。東口には交番の前とバス停付近に2か所喫煙所があるが、夜中の9時ごろまで座って喫煙するほか、携帯を触りながらビールを飲んだりしており、恥ずかしいとも思う。喫煙所について副流煙が気になり、自分の家の窓を閉めることもある。撤去することも含めて検討をしていただきたい。

〔回答〕

喫煙者に対して、やめろとは言わないが駅前の喫煙所はたしかに酷すぎる。イメージが悪い。西口では喫煙所を廃止したが、周辺施設の喫煙所の設置場所を確認したこともあり、文句を言うてくる人はいない。有料にして管理人をつけることで綺麗に保つのも1つだと考えている。

〔質問〕

望地から海老名駅に向かう道の渋滞がひどい。歩行者の横断による問題もあるが、国分坂下から海老名駅までに向かうまでの間の右折が1車線しかないことが問題だと思う。車線を増やすのは難しいと思うため、伊勢山公園前交差点から海老名市消防団第1分団につながる道からJA（国分坂下北交差点付近）につながる道を作りたいことを提案したい。

〔回答〕

指摘の場所は、史跡地であるという問題がある。家を建て替えるのにも試掘をしなければならない。その際に文化財が出てきた場合には、さらに範囲を広げて試掘を行うこととなる。こういった史跡地という問題があり、最初の整備の際に市はやらなかった。おもしろい提案だと思うため、所管課で試算を行う。

〔質問〕

フルインクルーシブ教育について、市民1人1人の意識を高めるためにも、ホームページのトップで掲げる等、市としてフルインクルーシブ教育を進めてほしい。

〔回答〕

PRはできる。フルインクルーシブ教育を行うには、学校施設を大きく変える必要があるため、国や県からの支援も受けながら行っていく。仮称「大谷・杉久保地区公園整備事業」について、子どもたちにどのような公園にしたいかアンケートを取ったところ、障がい者と一緒に楽しめる公園にしたいという意見があった。障がい者の方と普通に付き合うことがフルインクルーシブ教育の原点であると思う。教育長もフルインクルーシブ教育を進めていきたいと言っており、一緒になって進めていく。